

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
M212P105		基礎看護学実習 (Clinical Practice of Fundamental Nursing I)					基礎看護学									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
必修	1	1	医学部看護学科	前	他	日本語			複数(共同)							
担当教員	氏名 佐藤祐貴子, 清村紀子, 内川洋子, 佐藤佑佳原田千鶴(非常勤講師), 安藤敬子(福祉健康科学部), 花岡千晴(非常勤講師) E-mail haraguti@oita-u.ac.jp 内線 5031															
授業の概要	本科目は、病気や障害、加齢による健康問題のために生活に支障がある対象との直接的な関わりを通じて、家族・地域・集団・社会の中で生活を営む人間としての対象の理解を深める。また、対象と学生間の相互のコミュニケーションを体験し、望ましい人間関係について考える。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	対象と自分(学生)の間の相互の関わりを体験し、望ましい人間関係について言語化できる。															
目標2	生活を営む人間としての対象を理解する。															
目標3	実習での体験を通しての学びと今後の自らの課題を言語化できる。															
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							4	4								2
授業の内容																
1	実習期間：令和7年7月下旬～8月上旬の5日間															
2	場所：大分大学医学部附属病院、別府リハビリテーションセンター、九州大学病院別府病院、井野辺病院、大分赤十字病院、国東市民病院（*国東市民病院のみ宿泊を伴う）															
3	実習スケジュール															
4	7月上旬 実習オリエンテーション(学内)															
5	7月下旬 手洗い演習、コミュニケーション演習、施設別実習オリエンテーション(全て学内)															
6	臨地実習 臨地実習・学内実習(実習報告会準備)															
7	実習最終日 実習報告会、実習評価面接(全て学内)															
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
ラーニング	A:知識の定着・確認	対象者の生活の場に赴き、実習指導者の指導のもと対象者に直接かかわる。またカンファレンスや実習報告会を通して体験を振り返り、学びを深める。				工夫 その他	・既習の学修内容を踏まえ、実習を体験し概念化を行う。									
	B:意見の表現・交換															
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造	A:事前学習課題、既習科目の復習 B:ディスカッション C:カンファレンス D:臨地実習														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	既習の学修内容を復習する(10h)事前学習課題(「実習施設」「対象者の思い、対象者との関わり、理解する視点」)を個人およびグループでまとめておく(5h)。 対象の疾患・生活に関する学習(10h)、オリエンテーション(5h)														
	事後学修	対象者との関わりを振り返りながら、記録用紙を用いて対象の理解を深めるとともに、実習で体験したことを言語化する。(10h) レポート作成(5h)														
	想定時間合計	45														
教科書	教科書を指定しない。															
参考書	参考書を指定しない。															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		実習記録、カンファレンス、レポート	80%									
	実習貢献度・態度の評価	20%										
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中に知り得た対象者の情報は決して口外しない。（守秘義務）</li> <li>・通学は原則公共交通機関を使用する。実習に必要な費用として、交通費、場合によっては宿泊費の負担がある。</li> </ul>											
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生生活案内を参考に、実習に支障のないようにアルバイトや部活等を事前に調整しておく。</li> </ul>											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	看護師：佐藤祐貴子，清村紀子，安藤敬子 他 保健師：安藤敬子											
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無												
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	看護師：原田千鶴											
実務経験を いかした教 育内容	臨床での豊富な経験をもとに、臨地での看護学実習における療養生活を営む人間としての対象の理解や対象と学生間の相互のかかわりを支援する。											